

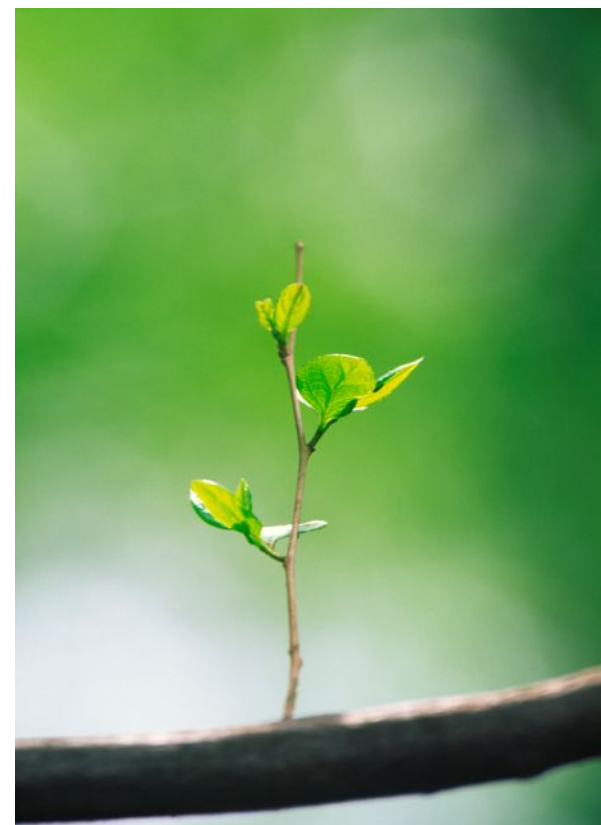
インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年3月21日
聖日礼拝

受難節の霊想

「世の罪を除く神の小羊」

ヨハネの福音書1章29-37節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ヨハネの福音書1章29-37節

29 その翌日、

ヨハネは自分のほうに
イエスが来られるのを見て
言った。

「見よ、

世の罪を取り除く神の小羊。

30 私が

『私のあとから来る人がある。
その方は私にまさる方である。
私より先におられたからだ。』
と言ったのは、
この方のことです。

31 私もこの方を知りませんでした。

しかし、

この方がイスラエルに
明らかにされるために、

私は来て、

水でバプテスマを授けている
のです。」

32 またヨハネは証言して言った。

「御霊が鳩のように天から下って、
この方の上にとどまられるのを
私は見ました。」

33 私もこの方を知りませんでした。

しかし、

水でバプテスマを授けさせるために私を遣わされた方が、私に言われました。

『御霊がある方の上に下って、その上にとどまられるのがあなたに見えたなら、その方こそ、聖霊によってバプテスマを授ける方である。』

34 私はそれを見たのです。
それで、
この方が神の子であると
証言しているのです。」

35 その翌日、またヨハネは、
ふたりの弟子とともに
立っていたが、

36 イエスが歩いて行かれるのを見て、
「見よ、神の小羊。」と言った。

37 ふたりの弟子は、
彼がそう言うのを聞いて、
イエスについて行った。

説教

受難節の霊想

「世の罪を取り除く神の小羊」

ヨハネの福音書1章29-37節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「ヨハネは自分のほうに
イエスが来られるのを見
て言った。

『見よ、
世の罪を取り除く
神の小羊。』」

(ヨハネ1:29)

1. ヨハネのイエス紹介

- ・ イエス紹介の背景：
イエスの公生涯初期
- ・ サンヒドリン調査団へ：
調査団への回答（**19節**）の
翌日（**29節**）
- ・ 二人の弟子へ：
更にその翌日（**35節**）

2. ヨハネのメシア像(29—34節)

- ①世の罪を除く神の小羊(29節)
- ②ヨハネよりも先に存在した(30節)
- ③聖霊が彼の上に注がれた(32節)
- ④聖霊によって
バプテスマを授ける方(33節)
- ⑤神の子(34節)

3. 「小羊」のイメージ

- ① 過越しの小羊：
奴隷解放の身代わり
(出12:5、1コリント5:7)

- ② 苦難の僕：
罪の贖いのため
(イザヤ53:7、使徒8:32)

4. 小羊が示す忍従の道

(1ペテロ2:18—24)

5. 世の罪を除く小羊

- 世の罪とは：
人類全体の「神への反逆」
- 身代わりとして罪を担う：
アイローの意味①「担う」
(イザヤ**53**：4、11、12)
- 罪を除いて、終わりにする：
アイローの意味②「除去」
(1ヨハネ**3**:5)

6. (使徒)ヨハネたちの応答

- 直ぐに従う (37節)
- 十字架を目撃する (1ヨハネ2:2)。

7. 私たちの応答

- ・ 見つめよう：十字架を
- ・ 仰ごう：罪の解決者として
- ・ 賛美しよう：
「ほふられた小羊に栄光を！」
(黙示録**5:12**)